

補足資料「宗像高校でオレンジカフェ（認知症カフェ）を開催します」

※1 認知症地域支援推進員

介護に関する知識・経験をもった医療や介護の専門家です。

宗像市では、平成29年度から日常生活圏域を担当する地域包括支援センター及び社会福祉協議会に配置をし、現在9人の認知症地域支援推進員がいます。

認知症地域支援推進員の役割には①医療・介護等の支援ネットワーク構築②認知症対応力向上のための支援③相談支援・支援体制構築、があり、認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症への理解普及や相談、地域の支援ネットワークづくりを行います。

※2 認知症カフェ

認知症の人やその家族、地域の人気軽集い、介護負担の軽減や悩みの解消、同じ境遇の人との交流を目的とした「交流の場」です。また、認知症の症状や対応のこと、介護・暮らしのことなどを専門の相談員に相談できる「相談の場」でもあります。相談は保健師や社会福祉士等資格を有した認知症地域支援推進員、専門職が対応しています。

身近な地域で、もしものとき頼れる人、相談ができる人とつながることで安心感が得られます。どなたでも自由に参加できる地域の「居場所」です。

《参考》

○宗像市オレンジカフェ事業

宗像市が『カフェの設置推進や開催頻度の増加』を図るため、地域福祉推進を目的としている社会福祉法人宗像市社会福祉協議会に「認知症地域支援推進員」を委託配置し、実施するもの。

○宗像市の認知症カフェの開催

宗像市社会福祉協議会が宗像市から受託して、“認知症地域支援推進員”を配置し、平成29年度から、地域で活動しているボランティア団体と協力しながらオレンジカフェを開催しています。ひとつひとつ工夫をこらし、手作りのカフェが各地域で開かれています。

【平成30年度開催状況】

	日にち	主催	開催場所	参加人数
1	平成30年 4月27日	福祉ボランティア団体 「にじいろポケット」	メイトム宗像	54
2	平成30年 6月5日	福祉ボランティア団体 「花いちもんめ」	メイトム宗像	40
3	平成30年 9月27日	丘の上の街	丘の上の街	30
4	平成30年 10月12日	城西ヶ丘見守りネットワーク結び愛	城西ヶ丘公民館	60
5	平成30年 10月26日	広陵台1丁目福祉会	広陵台1丁目公民館	46
6	平成30年 11月4日	(福)宗像市社会福祉協議会	宗像ユリックスイベントホール	50
6	平成31年 1月30日	福祉ボランティア団体 「花いちもんめ」	宗寿園デイサービスセンター段々内	40
7	平成31年 2月27日	自由ヶ丘第3区会サロン	自由ヶ丘第3区会公民館	未実施
8	平成31年 3月6日	認知症サポーター協議会	メイトム宗像	未実施
9	平成31年 3月13日	ボランティア団体 「花いちもんめ」	ハイマート杏	未実施
10	平成31年 3月20日	宗像高校在校生	宗像高校	未実施
11	平成31年 3月26日	丘の上の街	丘の上の街	未実施

*** 県立宗像高校でオレンジカフェ開催に至るまでの経緯 ***

宗像市社会福祉協議会は、2006（平成18）年以降、「福祉教育推進計画」（現在、第3次計画進行中）を策定し、「福祉の里 ともに生きるまち宗像」を基本理念に掲げ、学校での子どもたちへの福祉教育だけではなく、住民（大人）が地域福祉の重要性や必要性を理解・学習する場として、また地域福祉の推進に参画し体験学習する生涯学習として計画的に取り組んでいます。

取り組みのひとつに「福祉教育推進校（園）事業」があり、幼児から高校生まで、子どもたちの発達段階に応じた効率的で効果的な福祉教育を実践できるように各指定校と検討や調整を行い、福祉教育の充実を図っています。宗像市にある2つの高校「県立宗像高校」と「私立東海大学付属福岡高校」も平成19年度からこの事業に参加、協力を頂き、在校生と教職員を対象とした「高校生ボランティアスクール」を「地域貢献学習の場」として開催し、知的・発達・精神障がいのある人や認知症への理解促進を図る福祉教育実践プログラムを実施しています。

【認知症カフェの実績】

年度	開催数	開催団体数	参加者数
平成29年度	6回	6団体	443人

※3 認知症サポーター

認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人や家族に対してできる範囲での手助けをする人。

※4 認知症サポーター養成講座

認知症サポーターを養成するための講座。

宗像市では社会福祉協議会に委託して、平成20年度から実施している。

【実績】

平成29年度までの実績（累計）	平成30年度（平成31年2月現在）
224回	32回
8,748人	1,450人